

# 品川区水辺千本桜計画 概要版

## 計画策定の背景と目的

### ●計画策定の背景

品川区では近年、水辺の有効活用や品川らしい景観形成の取組が進められています。また、区内には都内でも多数の桜の名所があるが、今後は保護や植え替えなどが必要となっています。

### ●計画策定の目的

これらの状況を踏まえ、区内の桜を区民や民間企業などとの協働により守り育てていながら、水辺と桜を活用した「水とみどりがつなぐまち」の実現を目指していくため、本計画を策定することとしました。

本計画は、目黒川をはじめとした水辺空間の桜を総数千本に植樹することで、舟運など水辺観光に資する環境を支援し、区民や民間企業などとの協働により、水辺空間の魅力アップや賑わい創出に資することを目的とします。

## 品川区千本桜計画の基本方針

**計画期間** 2018年度～2020年度

**将来像** 「みんなで築く 水辺がにぎわう さくら軸」

**目標** 2020年までに区内の水辺空間に1,000本の桜を整備

**対象範囲** 品川区内の水辺  
(目黒川、立会川、天王洲運河、勝島運河、京浜運河)

### 基本方針

#### 方針1：品川に訪れたい魅力的な桜づくり

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会に向け、国内外から多くの人々が訪れたいよう魅力的な水辺環境を桜により彩ります。また、観光まちづくりを通じて、まち全体の生活環境の質の向上と人々の賑わいの創出を図ります。

#### 方針2：民間と連携した新たな水辺の桜づくり

「運河ルネサンス推進地区」、大崎駅・五反田駅・大井町駅周辺など民間活動が活発に行われている地区において、地元住民、企業、NPO等と連携を図り、品川らしい新たな水辺の桜づくりを行います。

#### 方針3：品川の歴史を伝える桜づくり

歴史的な変遷の中で生まれた品川らしい多様な水とみどりを伝えるため、名所の桜をつなげ、新たな名所づくりを行い、品川区の魅力国内外にPRするなどし、後世に伝えていきます。

#### 方針4：人々の輪が広がる桜づくり

区民や団体、企業など多様な主体との協働が行われている素地を活かし、区民や民間団体等から寄付を募るなどし、公民連携で新たな桜を植えて育てていく取り組みを推進します。

### 全体整備方針

- 目黒川をはじめとした区内の水辺に、区が主体となって2020年までに既存の桜と合わせて1,000本の桜を整備します。
- 臨海部にはまちづくり協議会等の民間活動と連携し、新たに桜を整備することで品川らしい水辺景観を創出します。
- 品川の歴史や地域で行われている様々なイベントの開催時期を踏まえ、地域特性にあった地域の賑わいに寄与する桜の品種を検討します。
- 地域住民や団体等と連携しながら今ある桜を守り育てていきます。

### ◇3つの整備軸

#### 目黒川軸

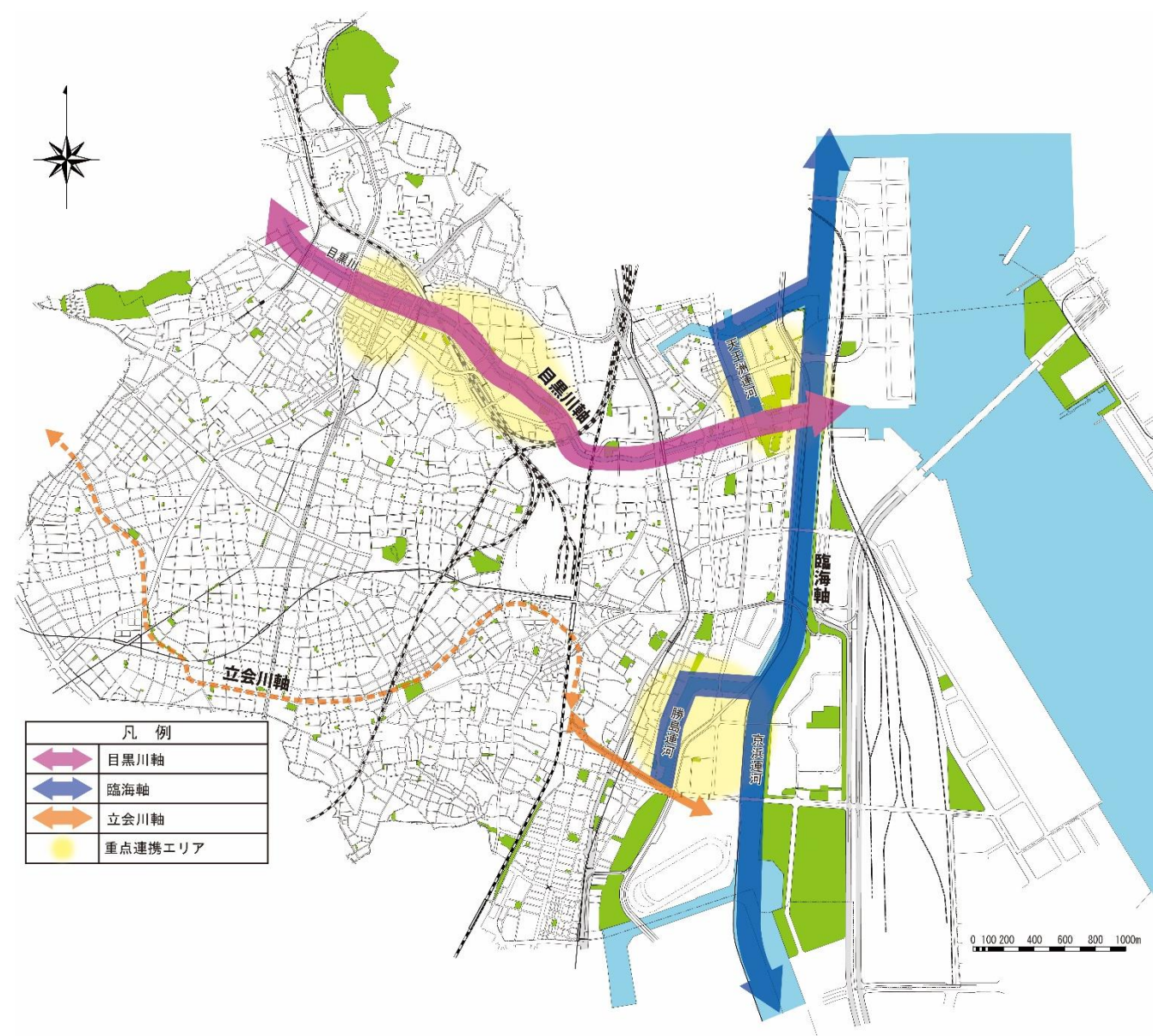
目黒川軸は、これまで以上に桜の充実を図るため、順次桜の植樹を行い、上流・中流・下流エリアに分け取り組みを進め、訪れたい魅力的な桜並木づくりを行います。

#### 臨海軸

臨海軸は、まちづくり協議会等の民間団体や東京都と連携し、地域で行われているイベント等も考慮し新たな品種を取り入れた水辺の桜名所づくりや区民活動と連携した桜の見守り活動を検討していきます。

#### 立会川軸

立会川軸は、かつては地域に親しまれた水環境がありましたが、道路や公園などを中心に今ある桜を守り育てていきます。



### ◇重点連携エリア

- まちづくり協議会等による活発な活動が行われており、イベント等の開催も多い地区において、まちづくり協議会等の民間団体と連携し、民地内の計画と合わせた桜の整備を検討します。

### 区民との連携方策について

品川区水辺千本桜の実現を目指すため、区民などとの協働により以下のような取り組みを行います。

- ふるさと納税による寄付を活用した桜整備
- 桜の充実に賛同いただくまちづくり協議会等と連携した計画作成